

55周年記念号



1991 No.29



明徳市高市市日



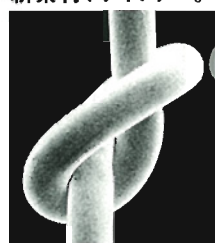
OGASAKA SKI

時代が求めたもの。

ユニティSV、登場。



新素材、サイファー。



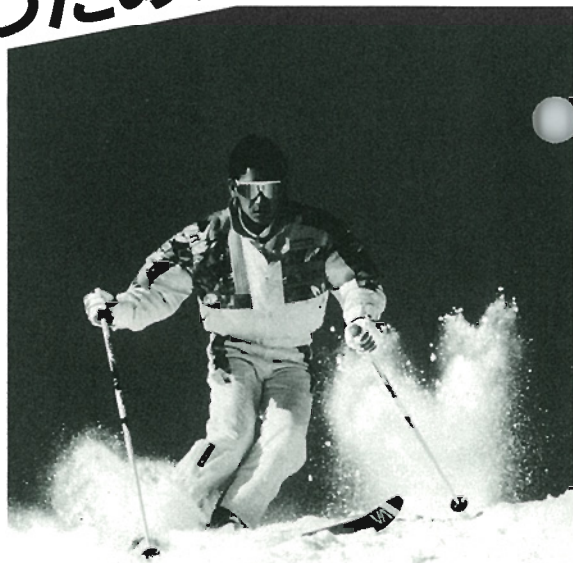
※写真提供：神戸製鋼所

UNITY-SV ¥109,000 ●Length/180-203cm ●構成材/一次構造・サイファー+T.グラスファイバーハイブリッド複合材 ●エッジ/ネオフレックス-60C ●滑走面/シンタドベース・ナチュラル、ミクロストーンフィニッシュ ●価格はメーカー希望小売価格です、消費税は含まれておりません。

そのすべては  
頂点に立つために

SAJ03承認番号230

それはあらゆる雪質、あらゆる状況においても完璧に華麗であるために誕生した。  
心で描くラインを忠実にトレースする性能。テクニカル・フォームをより豊かに表現する操作性。  
そして鮮烈な切れ味。そのすべてが高次元で完成した。  
頂点を極め、維持するために。サロモン・エキスパートライン。



expert line

line

ごあいさつ



(財)東京都スキー連盟

会長 盛田 昭夫

東京都スキー連盟は今年5月創立55周年を迎えました。ここで関係者の皆様方に今までのご苦勞、ご努力に対して深く敬意を表すと同時に、厚くお礼申し上げます。

東京都スキー連盟は昭和12年5月に発足し、以来幾多の困難を乗り越えスキー普及の為に多大なる貢献をされてきました。昭和48年にはスキー界ではいち早く財団を設立し、東京都というより日本のスキー界のリーダーとして活動し、各国のスキー連盟とも交流を結び、国際大会などにも積極的に参加して内外で高い評価を受けております。

現在日本は経済大国と呼ばれ、カラーテレビ、ビデオ、カメラ、自動車などの日本製品が世界中で愛用されております。これらハードウェアだけでなくソフトウェア、つまり文化の面でも数多くの日本人が活躍されています。例えば音楽界を見ると 小沢征爾さん、岩城宏之さん、後藤みどりさん、坂本竜一さん……他大勢の方々が世界を舞台に活躍されております。ファッションの世界では森英恵さん、三宅一生さん、やまもと寛斎さん……他多士済々です。

一方、スポーツの世界を見ると野球、サッカー、陸上、水泳、そしてスキー 残念乍らまだ世界の強豪と肩を並べるレベルには至っておりません。

スキーがオーストリア人のレルヒという人によって日本に紹介されたのは、明治の終わりということですが、そのスキー人口は今や1000万人を越え、ウィンタースポーツの花形となっております。

私自身、スキーは学生の頃ちょっとかじっただけでしたが、今から10年前、ちょうど60歳になった時スキーに再チャレンジしようと始めました。以来毎年軽井沢、旭川、スイス、アメリカで滑っております。急斜面を滑り降りる時のスリル、醍醐味は言葉で言い表すことが出来ません。

白銀の世界でのスポーツは、全てを忘れさせ、身も心も壮快にしてくれ、明日への活力を生み出してくれます。

私が3年前に東京都スキー連盟の会長をお引き受けしましたのは、日本のスキー界も早く世界のレベルに達し日本人スキーヤーが国際舞台で活躍する日が早くくるよう、何かお役に立てば、という理由によるものです。そしてスキーを通じて青少年の健全なる育成に役立つことを願った次第であります。

を生み出してくれます。

私が3年前に東京都スキー連盟の会長をお引き受けしましたのは、日本のスキー界も早く世界のレベルに達し日本人スキーヤーが国際舞台で活躍する日が早くくるよう、何かお役に立てば、という理由によるものです。そしてスキーを通じて青少年の健全なる育成に

## 都連の担うもの

副会長 菅 秀文

雪のない東京都に1937年、スキー連盟が創立されて以来ここに55周年の輝かしい年を迎えることができ、大慶の至りであります。'36年神宮大会が道府県単位となった為、故小島三郎氏と故小川勝次氏が発起人代表となり、'37年東京府スキー連盟の創立となりました。

この御両氏は共にSAJとSATの創始者であり、両連盟会長を歴任しました。その後'42年から戦時体制に入り、'45年に現在のSATは復活したのです。この時期にはお茶の水在の岸記念体育館内のSAJ事務局と同居したこともあります。

'48年、戦後の都連組織としてのスタートは、鉄道省、毎日新聞、交通公社と都民スキー学校を共催、また、同年越後湯沢で第1回都民スキー大会を開催しました。

戦前45団体約4000名を擁した東京府連も戦後の疲労で、復活都連は9団体約2800名となりましたが、今日411団体、会員数約5万名（未登録会員含む）と飛躍的發展をしました。その礎を築かれた先達各位のご尽力と情熱に心から感謝を捧げます。

爾来、都連は国際および国内各種大会に数多くの入賞者を出し、また世界の市民権を得たと言える、日本スキーのアイデンティティの理解の為に、英独文の解説を入れた「日本スキー教室」など執筆編集責任者を出しています。

そして、常時多くのデモンストレーターを認定させ、全日本へ選手及び役員を送り、その任を果たし、広く日本のスキー界に貢献、さらには海外の各種大会、インターシー、オリンピック等への活躍の一端を都連が



## 生涯スポーツにおける都連の役割

東京都スキー連盟創立55周年を迎えるに当たり、第二次世界大戦前後に亘るこの55年を振り返って見ると、今更ながら感無量であります。殊に最近の30年におけるスキー界の発展は目覚ましいものがあり、わが国ではこの間の経済力の進展に支えられたスキー場の開発、用具の改良、交通機関の発達にスキー人口の激増と相俟って、我が連盟も法人化して公益的活動を務めるようになりました。且は膨大なスキーヤーを抱える団体として、指導者の育成、指導技術の質、量を向上充実するための必要から国際交流にも力を入れてきています。そして今は、生活に豊かさを一層取り込む時代であり、生活の半面である余暇の中でのスポーツの在り

になって来たといっても過言ではないでしょう。続いて、'57年の準指導員制度や、'58年のパトロール制度の設定、'79年のフリースタイルの日本移入など、都連は高い評価を得ています。

今後は更に組織活動の活発化と、国際交流を充実してグローバルな、しかもコンティンジェンシー・プラン（状況対応プラン）が強く要求される世界に向けて、ヴェアリアブルな対応と確かなスキー志向を皆さんと共に推進していきたいと思っています。

尚、勸日本体育協会実施の「資格付与制度」について、都連は現行の指導員制度は、遵守する決議をしており、SAJも4月の理事会で次の姿勢を決議しています。(1)現行制度は存続させる。(2)新制度は承認する。(希望者のみ)以上報告いたします。

ところで、都連が55周年を記念する年に、IOCは'98冬期オリンピック長野開催を決めました。長野市や組織委員会は、競技コースの設定に当り自然環境の保護には、充分留意して頂きたいと思います。IVSI（国際スキー指導者連盟）理事会においても、「スキースポーツと自然環境」について熱心に討議研究をすすめています。

最後になりますが、都連会員の一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。



副会長 加藤 二郎

方が生涯スポーツという言葉でクローズアップされて来ております。我々のスキー活動も否応なくこれと対応すべき状況になっています。生涯スポーツと言えば幼年から老年まで通してと言うことになり、他のスポーツの中には既に「高齢者のための施設」が出来ているのもあると聞いております。スキー界では外国に一部の少数例を見ましたが、わが国ではまだ無いに等しいといつてよいでしょう。東京は大スキー人口を持ついわゆる雪無し県として、若年者や高齢者専用の設備を、スキー場を持つ関係各地、各社、各団体のご理解を是非ともいただき、全世代が楽しいスキーの出来る様になることを期待し、また努力して参りたいと考えております。

## 官庁主導の弊害

全日本スキー連盟は創立以来競技スキーの分野に重きをおき、一般スキーについてはなんら関心も示さなかった頃の昭和13年冬、山形県五色温泉スキー場宗川旅館に一国一山のスキー親分連中が集まり指導章を授与する制度の話し合いをした。翌14年指導員制度が設立された。以来50数年間進歩的制度改革を図りながら国民体力向上に寄与してきた。その大いなる実績が、今官庁主導のもとに潰されようとしている。文部省認定教師資格付与等と素晴らしい資格の餌につられたという有資格者の悪評の声を聞く。蓋を開ければ勸日本体育協会公認スポーツ指導者制度に従わねばならない状況にある。特に勸東京都スキー連盟所属有資格者は資格付与のきびしい条件に堪えられるか。今日このような状況になった責任はどこにあるのか。誰が責任を取るのか。問題のツケを次の世代に持ち越さないため、

今南関ブロック(神奈川、千葉、東京)会議に於いて真剣に討議中である。執行の最前線にある方々は、自らの利益が損なわれる改革に早期解決を見送ったり、および腰になったりせず、勸東京都スキー連盟5000名の有資格者の確かな利益とこれまでと同様に活力ある活動ができるように官庁主導の体制に対し、体を張ってゆく勇氣ある行動を示されるよう担当者各位に心から期待するものである。



ハンネス・シュナイダーの弟子、筆者

## 都連の躍進に想う

発起人代表小川勝次先生を始めとして、諸先生方の努力で昭和12年5月12日、スキー連盟は誕生した。本年で55周年となり、先人のスキーに対する情熱の炎が今日のスキー連盟を築き上げたと言えるでしょう。

創設当初のご苦労は勿論、各種制度設立時の熱心なる研究、更にスキーを広く一般に普及させたことは、多くの先輩達の熱意と輝かしい業績によるものです。OB、顧問、参与等先輩諸氏の先生方に感謝申し上げます。

この業績を引き継ぎ、技術指導、競技会等多種にわたる行事の企画、運営をして下さっている現役員の方々にも、お礼を申し上げたい。アマチュアスポーツマンシップによる活動は、どんな世代、社会にも通用するパスポートであり、永久不変の価値あるものと評価されよう。

現在都連は加盟団体411団体、指導員(準指含)4930名、公認検定員A級128名、B級1775名、C級2651名、競技資格者411名、パトロール122名、フリースタイル公認審判員14名、その他各部専門委員を多数擁しているが、今後ますます活発にスキー・スポーツ界に

えてゆきたい。

今やおどろくべき速さで都民スキーヤーがふえている。これも時代が求めているスポーツであり、その対応として技術の向上と安全指導はスキー連盟に課せられた事業となっている。その一環として指導者の養成、競技力向上のための一歩としての、ジュニア競技者の育成、更にハンディキャップスキーヤーのバックアップ体制など、将来に向けての課題はつきません。

都連公認スキー場として、菅平高原スキー場、車山高原スキー場、志賀高原サンパレースキー場があるが、いずれも施設が毎年改善され、都民スキーヤーのホームグラウンドとしての機能を果たす役割を荷なっています。

特に、三スキー場とも人工降雪設備は目を見る感があり、競技大会々場としては最高である。地元と協力し更に素晴らしいスキーエリアにしたい。

日本を代表するスキー連盟として、国際交流を活発化するとともに、加盟団体の協力を得て、過去から未来への55周年としたい。



専務理事 岡田 興一



## 都連への大きな期待

東京都スキー指導員会

会長 田 英 夫

東京都スキー指導員会の会長として、東京都スキー連盟の55周年を心からお祝い申し上げます。

冒頭から私ごとで恐縮ですが、私がスキー始めたのが昭和11年、つまり、東京都連の発足と同じ年度なのです。55年という年月を、私は実感としてよく分ります。その間、先輩の皆さんが、どんなに苦勞してこの東京都連を育ててくださったかも、よく分ります。

あの太平洋戦争という、いまわしい出来事を乗り越え、戦後の苦しい状況の中で、東京都連を再建してくださった皆さんに心から感謝いたします。

昭和20年の12月、つまり終戦の年の暮れも押し迫った頃、私は戦争でスキーも、ウェアも総べて焼かれ、私自身「学徒出陣」の名のもとに海軍に身を投じ「震洋特別攻撃隊」の一員として、かろうじて生き残った身で、生きている喜びをかみしめながら超満員の列車に乗ってスキー場へ行きました。新潟県の関温泉、中学生の時から、私のスキーを育ててくれた思い出の所へ、どうしても行きたかったのです。戦争中二年間のブランクがありましたが、地元の皆さんは、心から喜んで迎えてくれました。スキーも、すべてのものも貸してくれました。スキーで結ばれていた人間関係を改めて温かく感じました。

東京都スキー連盟もまた、私が体験したと同じように苦難を乗り越えて、同じスキーを愛する人たちの協力によって、新しい時代を迎えることができたのだと思います。

私はそんな体験の中から、いま東京都スキー連盟を担っておられる幹部の皆さんに、お願いがあります。

それは先人が歩いてこられた足跡を改めて見直してほしいということです。

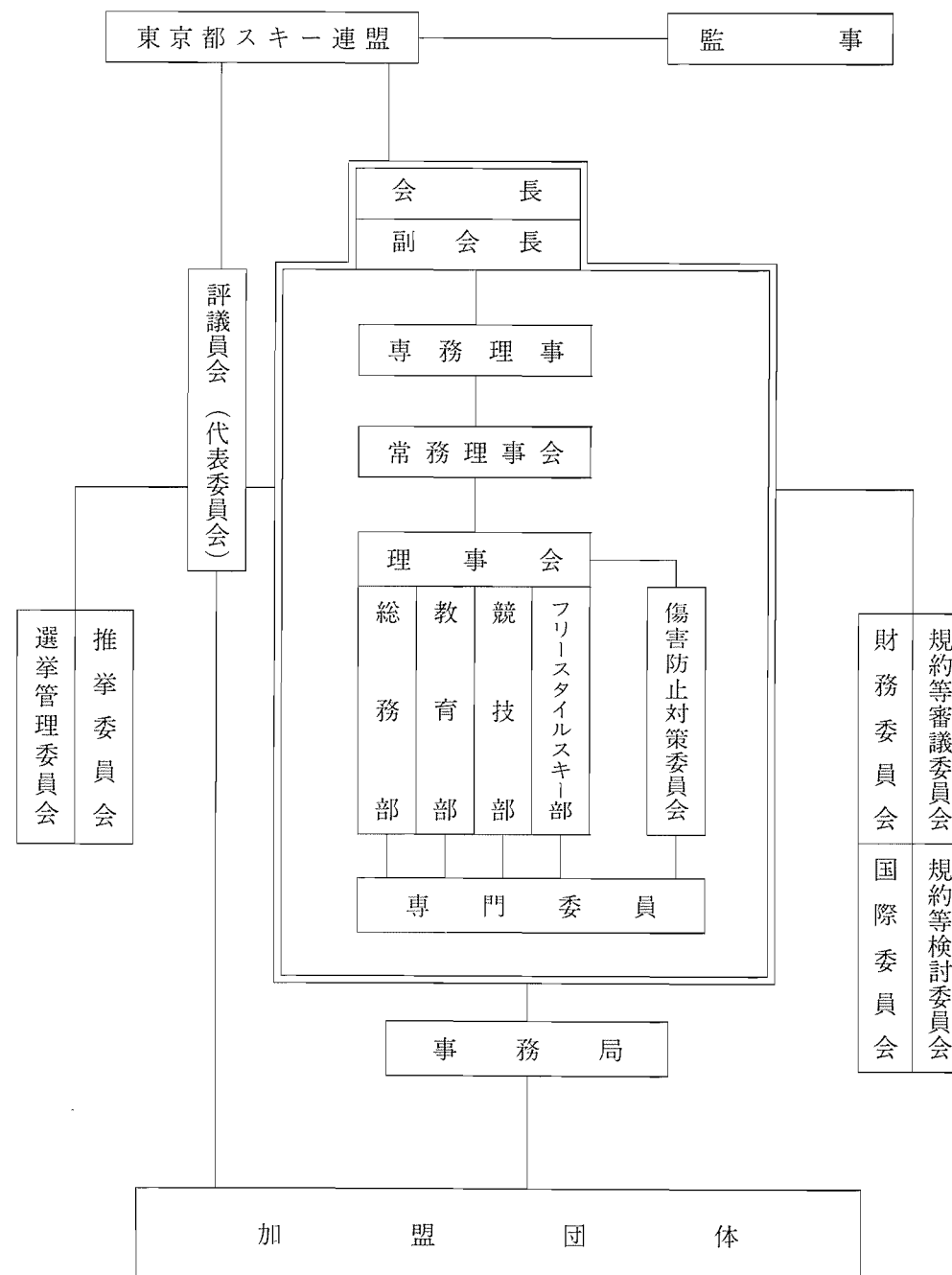
いま日本は経済的に極めてめぐまれた状態にあります。スキー場の施設も素晴らしいものになりました。交通機関も、昔とは比べものになりません。スキーそのものも、クツもウェアも素敵です。

そうした中で、首都東京の——雪無し県ではありますが、その東京のスキー連盟としての東京都スキー連盟は、全国のスキーの動向を決める立場にあると思います。東京都連の動きは、日本の、特に一般スキー、基礎スキーの分野での動向を決めるといっても過言ではないでしょう。

先人たちはこうした東京都連の立場を理解して、活発な活動をしてこられたと思います。

55周年を迎えるに当って、東京都スキー連盟が、今までにも増して、活発で、そして日本のスキー界を引っばってゆくという気迫に満ちた活動をされることを心から期待します。

## (財)東京都スキー連盟組織



# 役員紹介



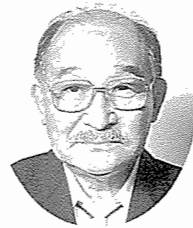
会長  
盛田昭夫



副会長  
菅秀文



副会長  
加藤二郎



副会長  
館崎貞次



専務理事  
岡田興一



スーパーバイザー  
井上衛



スーパーバイザー  
渡辺茂



常務理事  
総務部長  
二宮浩司



常務理事  
教育部長  
広田貞彦



常務理事  
競技部長  
小川和雄



常務理事  
フリースタイルスキー部長  
大槻譲



常務理事  
傷対委員長  
内田時雄



総務部副部長  
市川友之



理事  
北川清次



理事  
久保田友江



理事  
三浦友三



理事  
吉田茂



教育部副部長  
杉崎寿三男



理事  
本間尚



理事  
板垣和男



理事  
浜田建治



競技部副部長  
島田武重



理事  
長谷川武



理事  
中野穂



理事  
河崎和夫



理事  
尾山正人



フリースタイル  
スキー副部長  
斉藤章



理事  
丹下一成



傷対副委員長  
春原利久



理事  
斉藤敬三



監事  
関口礼三



監事  
稲垣彰



監事  
木野正彦

評 議 員

加盟順

| 氏 名    | 所属団体(含団体番号)       | 氏 名    | 所属団体(含団体番号)          |
|--------|-------------------|--------|----------------------|
| 関本 毅   | 4 東京スキー研究会        | 服部 俊雄  | 146 ファイブ・リングズ・スキークラブ |
| 中沢 義昭  | 4 東京スキー研究会        | 三瓶 一男  | 146 ファイブ・リングズ・スキークラブ |
| 谷 雅雄   | 9 東京スポーツマンクラブ     | 浅野 和行  | 155 スプリスキー同人         |
| 貝谷 浩平  | 9 東京スポーツマンクラブ     | 佐藤 義治  | 155 スプリスキー同人         |
| 福田 英貴  | 10 都高体連スキー部       | 小林 康行  | 158 練馬区スキー協会         |
| 水落 八郎  | 10 都高体連スキー部       | 三原 実   | 158 練馬区スキー協会         |
| 田中 忠次  | 13 プリリアントスキー同人    | 佐々木 秀明 | 161 東京自由人会           |
| 佐藤 日出夫 | 17 世田谷区スキー協会      | 大園 欽一  | 166 雙葉スキークラブ         |
| 山田 節夫  | 17 世田谷区スキー協会      | 吉岡 和義  | 174 全東京ライオンズスキー同好会   |
| 中村 晴夫  | 18 日本アルペンスキークラブ   | 坂井 兆   | 180 フロイデシーグルッペ       |
| 神田 義昭  | 20 杉並区スキー連盟       | 植田 政道  | 181 スノーファミリー         |
| 三井田 達雄 | 20 杉並区スキー連盟       | 山崎 武三  | 193 シュプールスキークラブ      |
| 渋谷 久雄  | 22 港区スキー連盟        | 成海 正弘  | 199 東京アルムスキークラブ      |
| 大沢 秀一  | 22 港区スキー連盟        | 平田 春雄  | 210 ギッペルススキークラブ      |
| 村林 久蔵  | 33 NTT東京スキー部      | 砂子 嘉弘  | 217 狛江市スキー協会         |
| 中村 純一  | 35 クリスタルスキークラブ    | 宮本 邦輔  | 222 スノータンネットクラブ      |
| 大島 国民  | 36 志賀高原スキークラブ     | 滝沢 勇   | 222 スノータンネットクラブ      |
| 西沢 洋介  | 38 エコークムラード       | 古橋 幸男  | 223 フロンティアスキークラブ     |
| 半沢 貞夫  | 38 エコークムラード       | 久永 正利  | 227 日本航空スキー部         |
| 松尾 武夫  | 39 スカブラクラブ        | 中村 邦光  | 237 日本白稜スキー同人        |
| 木村 靖夫  | 39 スカブラクラブ        | 平川 康信  | 234 新宿スキークラブ         |
| 藤本 長吉  | 43 ジーゲン・グルッペ      | 日和佐 勘治 | 234 新宿スキークラブ         |
| 高橋 長三郎 | 44 東京石楠花会         | 相川 隆   | 258 エスプリレーシング        |
| 若杉 恒雄  | 46 東京シルバースキークラブ   | 佐藤 善勝  | 259 町田市スキー連盟         |
| 八重樫 末太 | 55 東京パラレルスキーソサエティ | 白井 賢相  | 273 カオススキークラブ        |
| 今井 敬太郎 | 59 東京シーベル同人       | 真鍋 勝美  | 300 シール・スキークラブ       |
| 浦辻 直   | 61 農林水産省スキークラブ    | 豊田 博子  | 300 シール・スキークラブ       |
| 浅香 英夫  | 62 新宿区スキー連盟       | 下平 滋   | 316 日野市スキー連盟         |
| 宮武 信晴  | 71 江東区スキー連盟       | 竹部 雅人  | 322 東大和市スキー連盟        |
| 新川 和博  | 73 ライネススキークラブ     | 鈴木 茂夫  | 333 デモネージュスキークラブ     |
| 木口 利一  | 74 エーデルスキークラブ     | 飯田 均   | 333 デモネージュスキークラブ     |
| 中島 茂次  | 78 東京ベールンスキークラブ   | 栗林 新次  | 339 アーバンスキークラブ       |
| 長谷川 一郎 | 78 東京ベールンスキークラブ   | 萱嶋 信雄  | 346 ホワイトトリボンスキークラブ   |
| 渡邊 秀晴  | 79 防衛庁スキークラブ      | 西生 且矩  | 369 東京都水道局文化会スキー部    |
| 伊藤 博   | 79 防衛庁スキークラブ      | 染谷 忠夫  | 370 スキー同人イーグル        |
| 中条 真二郎 | 86 白銀スキークラブ       | 五日市 賢二 | 377 二十日石アルペンスキークラブ   |
| 山崎 昌矩  | 92 厚生省スキークラブ      | 阿部 雄三  | 393 リーゼンスキークラブ       |
| 斉藤 久   | 94 ヴェーデルンスキークラブ   | 小尾 昭   | 397 グルッペエスタウト        |
| 内田 肇   | 98 風花スキークラブ       | 斎田 耕   | 402 T P S            |
| 村山 靖和  | 111 チロルシー・カメラード   | 岡部 三治  | 404 日本Rスキークラブ        |
| 小沢 春雄  | 112 東京すゞらんスキークラブ  | 小須田 義治 | 416 スノーアルファスキークラブ    |
| 神山 勉   | 121 国際電信電話山岳会     | 小沢 直治  | 425 ラスカルススキークラブ      |
| 上山 千恵子 | 145 ヴェスタースキークラブ   | 佐野 真   | 453 エルクスキーソサエティ      |
| 鈴木 宏昌  | 145 ヴェスタースキークラブ   | 中根 晴一  | 467 中野区スキー協会         |

歴 代 会 長

歴代会長

|       |               |
|-------|---------------|
| 児島 三郎 | 1937.....1947 |
| 小川 勝次 | 1947.....1954 |
| 岩崎 三郎 | 1954.....1958 |
| 三沢 龍雄 | 1958.....1968 |
| 岩崎 三郎 | 1968...1970   |
| 赤井 三郎 | 1970.....1973 |
| 鳩山威一郎 | 1975.....1987 |
| 盛田 昭夫 | 1987.....     |

歴代理事長(専務理事)

|       |               |
|-------|---------------|
| 大神田軍司 | 1960.....1964 |
| 長谷川俊雄 | 1964.....1968 |
| 坂野 幸雄 | 1968.....1972 |
| 菅 秀文  | 1972.....1988 |
| 岡田 興一 | 1988.....     |

本連盟選出の全日本スキー連盟役員名(年代順)

| 役 名   | 氏 名       | 役 名 | 氏 名         |
|-------|-----------|-----|-------------|
| 会 長   | 小 島 三 郎   | 理 事 | (現) 菅 秀 文   |
| 〃     | 小 川 勝 次   | 〃   | 佐 藤 隆       |
| 理 事   | 小 林 辰 雄   | 〃   | 坂 野 幸 雄     |
| 〃     | 小 林 茂     | 〃   | 清 水 英 樹     |
| 〃     | 三 沢 龍 雄   | 〃   | 館 崎 貞 次     |
| 副 会 長 | 岩 崎 三 郎   | 〃   | 岡 田 興 一     |
| 理 事   | 鈴 木 正 彦   | 監 事 | (現) 水 木 秀 雄 |
| 〃     | 斉 藤 英     | 〃   | 三 沢 龍 雄     |
| 〃     | 小 里 秋 男   | 〃   | 鈴 木 正 彦     |
| 〃     | 妻 川 実     | 〃   | 岩 崎 三 郎     |
| 〃     | 岡 沢 吉 夫   | 〃   | 佐 藤 一 英     |
| 〃     | 長 谷 川 俊 雄 | 〃   | 清 水 英 樹     |
| 〃     | 小 島 弘 平   | 〃   | 妻 川 実 侃     |
| 〃     |           | 〃   | 内 藤 侃       |

# ■上部団体派遣役員

|                            |       |
|----------------------------|-------|
| 国際スキー連盟委員<br>(F. I. S.)    |       |
| アルペン委員 (極東代表)              | 猪谷千春  |
| アルペンルール委員                  | 海野明   |
| テーチング委員                    | 菅秀文   |
| グラススキー委員                   | 増岡隆一  |
| フリースタイル委員                  | 大槻譲   |
| 国際スキー教育連盟<br>(I. A. S. I.) |       |
| 理事                         | 菅秀文   |
| 国際スキー指導者連盟部会理事             | 福岡孝純  |
| (財)全日本スキー連盟                |       |
| 常務理事                       | 菅秀文   |
| 理事                         | 水木秀雄  |
| 評議員                        | 二宮浩司  |
| 評議員                        | 広田貞彦  |
| 総務本部専門委員                   | 市川友之  |
|                            | 北川清次  |
| 教育本部専門委員委員長<br>(企画部)       | 広田貞彦  |
| 副委員長                       | 杉崎寿三男 |
| 委員                         | 大沢秀一  |
| (指導部)委員長                   | 渡辺茂   |
| (検定部)委員                    | 本間尚   |
| (技術研究部)副委員長                | 増田千春  |
| 委員                         | 板垣和男  |
| 〃                          | 服部英一  |
| 〃                          | 浜田建司  |

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 教育本部専門委員主任<br>(強化小委員会) | 増田千春   |
| コーチ                    | 小熊恵一   |
| (学校体育)副委員長<br>(スキー部)   | 後藤守生   |
| (インター)委員長<br>(スキー委員会)  | 福岡孝純   |
| (安全対策部)委員              | 内田時雄   |
| 競技本部専門委員               |        |
| ジャンプ部                  |        |
| (技術委員会)委員長             | 川崎義治   |
| (飛型審判)委員<br>(小委員会)     | 川崎義治   |
| 委員                     | 藤田武四郎  |
| 委員                     | 佐々木長九郎 |
| コンバインド部                |        |
| (強化コーチ)                | 早坂毅代司  |
| アルペン部                  |        |
| セクレタリー                 | 小林喜代志  |
| アシスト                   | 布浦和弘   |
| (技術委員会)委員              | 布浦和弘   |
| 委員                     | 小林喜代志  |
| (強化コーチ)SL-A            | 上山利治   |
| コーチ                    | 岩谷高峰   |
| コーチ                    | 小野幸男   |
| コーチ                    | 柞淵隆    |
| (大会運営)委員<br>(小委員会)     | 小林喜代志  |
| 委員                     | 尾山正人   |
| 委員                     | 大杖二郎   |
| 委員                     | 布浦和弘   |

|                        |       |
|------------------------|-------|
| (コーチ、セッ)委員<br>(ター小委員会) | 小野幸男  |
|                        | 上山利治  |
| (ポイント計)委員長<br>(算小委員会)  | 小林喜代志 |
| (スピードスキ)委員<br>(小委員会)   | 小林喜代志 |
| アドバイザー                 | 見谷昌禧  |
| (ブロックコーチ)コーチ           | 市村政美  |
| コーチ                    | 嘉部健郎  |
| コーチ                    | 長沢茂利  |
| フリースタイル部               |       |
| (技術委員会)委員長             | 大槻譲   |
| 委員                     | 宮崎実己  |
|                        | 角皆優人  |
|                        | 石川千尋  |
| (強化小委員会)委員             | 宮崎実己  |
| (強化コーチ)ヘッドコーチ          | 角皆優人  |

|                     |       |
|---------------------|-------|
| バレー                 | 宮崎実己  |
|                     | 松本和俊  |
| (技術運営)委員<br>(小委員会)  | 春原利久  |
|                     | 信田智秀  |
|                     | 石川千尋  |
| ルール、公認部             |       |
| セクレタリー              | 布浦和弘  |
| (ルール委員会)委員          | 布浦和弘  |
| 委員                  | 大槻譲   |
| (公認委員会)委員           | 小林喜代志 |
| (マスター)委員長<br>(ズ委員会) | 小川和雄  |
| (財)東京都体育協会          |       |
| 評議員                 | 杉崎寿三男 |
| 競技力向上委員             | 島田武重  |
| 体育大会委員              | 河崎和夫  |

## 回'91~'92 全日本強化選手

|                        |                   |            |              |        |
|------------------------|-------------------|------------|--------------|--------|
| (アルペン)                 |                   | (クロスカントリー) |              |        |
| A                      | 岡部哲也 (デサント)       | C          | 長谷川 勲 (東京美装) |        |
| C                      | 佐藤久也 (デサント)       | C          | 山崎正晴 (同和鉱業)  |        |
| C                      | 栗野利信 (ロシニョールジャパン) | C          | 佐藤美子 (東京美装)  |        |
| (フリースタイル)              |                   |            |              |        |
| A                      | 横山岳男              | C          | 田中由香子        |        |
| B                      | 藤井博子              | C          | 上村祐子         |        |
| C                      | 武用 健              | C          | 中野銀次郎        |        |
| C                      | 北湯口 団             | W          | 田北 茂         |        |
| C                      | 生沼英幸              | W          | 八木 琢麻        |        |
| 回デモンストレーター (男子6人、女子3人) |                   |            |              |        |
| 男子                     | 斉木 隆              | 小野塚 喜保     | 女子           | 山崎 操   |
|                        | 沢田 敦              | 三上 慶孝      |              | 田端 夏葉  |
|                        | 出口 冲彦             |            |              | 宮崎 友見子 |
|                        | 山田 誠司             |            |              |        |

# 最新の総務部

## — その役割と業務 —

総務部長 二宮浩司

“総務部はどんな仕事をしているのですか？”加盟団体の中でも特に近年加盟された若い人たちから問われることがあります。

この問いに対して私は次のように答えています。「オールマナック」をみたことがありますか？。あなたのクラブには都連との窓口を果している「事務連絡担当者」がいますね。そこに「Almanac」があるはずですからよく見て下さい。総務の役割と業務分掌がくわしく書いてありますよ……と。

ご承知のとおり都連の執行部は「総務、教育、競技、フリースタイル、傷対委」の4部1委員会で構成され

ています。総務部以外は、いずれも雪上でのテクニカルな分野を担当していますから加盟団体の皆さんと接触するチャンスが多く、またその業務内容もわかりやすいのですが、総務部は「縁の下の力持ち」的な仕事が多く何んとなくわかりにくいのでしょうか。しかし都連は総務部が要となり軸となっているからこそスムーズに活動できるのです。

創立55周年を機に最新1年間総務部がどんな仕事をしてきたかを紹介し、皆さんのご理解をいただきたいと思ひます。

以下に平成3年度の活動状況を表記してみました。

### 〈平成3年度、総務部の活動状況の要約〉

| 業務分類    | 業務内容  |
|---------|---|
| 会議および文書 | 1. 理事会（9回）の開催<br>2. 評議員会の開催<br>3. 加盟団体代表者会議の開催<br>4. 事務連絡担当者会議の開催<br>5. 文書の收受、発送および保管に関すること。                  |
| 会計      | 1. 経費の出金と入金に関すること<br>2. 平成3年度決算<br>3. 平成4年度予算案の作成<br>4. 平成4年度評議員会議案書の作成<br>5. 財団法人の会計に関する研修<br>6. 都教育委員会との打合せ |

| 業務分類 | 業務内容  |
|------|---|
| 広報   | 1. スキー専門誌々上広報活動<br>スキージャーナル等誌上告知板への原稿提出（毎月号）<br>2. 東京新聞、東京中日スポーツ新聞紙上報道<br>1) 指導員研修会<br>2) 指導者養成講習会<br>3) スキー技術選手権大会<br>4) 準指導員検定会<br>5) クラブ対抗競技会と都民大会 |

| 業務分類 | 業務内容  |
|------|---|
| 渉外   | 1. 渉外業務の総括<br>2. 広告関係の依頼<br>3. 東京新聞、西武百貨店との打合せ<br>4. 各部行事とその宿泊に関する依頼<br>5. 関連団体との渉外に関すること |
| 事務局  | 事務局規程に基づく事務局の管理に関すること。  |
| 登録   | 団体の加盟ならびに登録に関すること   |
| 規約   | 1. 財団法人のあり方に関する規約等検討委員会の開催<br>2. 国際委員会の規程作成   |

これらの業務の遂行にあたり、仕事や私事を犠牲にして頑張っていた総務部理事、専門委員の皆さんに心から敬意を表するとともに、ご協力いただいた関係者の方々に対しこの紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

| 業務分類         | 業務内容   |
|--------------|--|
| 財務委員会        | 財務委員会の開催とスポンサーの開発                            |
| 名簿刊行委員会      | 名簿刊行に関する編集業務                                 |
| SAT編集委員会     | 「SATだより」の編集に関する業務                            |
| オールマナック編集委員会 | 「オールマナック」の編集に関する業務                           |
| 専門委員         | 専門委員の掌握に関すること                                |
| 創立55周年記念行事   | 1. 創立55周年記念行事開催に関すること<br>2. SATだより55周年記念号の編集 |

都連発足以来55年を経過し、財政と運営も一応安定してきましたが、この都連運営に参画していただいている加盟団体及び協賛関係各位のご理解を得ながら、今後はより財団らしい財団法人として発展して行くために鋭意努力していきたいと考えています。

## お知らせ '92年度行事日程（案）

来るシーズンの年間行事日程が各部ともほぼ決まりました。現地会場、他の行事とのかねあい等により、変更もあります。あくまでも現時点での予定として、その一部をお知らせ致します。

|              |                |        |   |                      |
|--------------|----------------|--------|---|----------------------|
| ○定期評議委員会     | 9/1(日)         | 雙葉高校   | E. 熊の湯 4/3(金)~5(日)  | F. 熊の湯 4/10(金)~12(日) |
| ○事務連絡担当者会議   | 9/14(土)        | 勤労福祉会館 | G. フランス 3/1(日)~12(火)  | H. カナダ 3/14(土)~20(金) |
| ○救急法講習会      | 9/23(月)        | 勤労福祉会館 | ※G.Hの研修会日程は変更されるかもしれません。  |                      |
| ○指導者養成講習会    | 10/12(土)       | 千代田公会堂 | ○指導者養成講習会   |                      |
| ○準指導員検定(理論)  | 11/17(日)       | 青山学院大学 | 〔前期〕A.B.C. 会場は、指導員研修会と同じ。   |                      |
| ○ “ ” [実技]   | 2/15(土)~17(月)  | 菅平会場   | 〔後期〕D. 1/18(土)~20(月)  | 菅平会場                 |
|              | 2/22(土)~24(月)  | 志賀会場   | E. 1/25(土)~27(月)  | 志賀会場                 |
| ○指導員研修・クリニック |                |        | ☆その他の行事及び詳細は、全てオールマナックに掲載、9月14日(土)の事務連絡担当者会議の折配布、および種々説明あり。担当者は必ず出席して下さい。 |                      |
| A. 菅平        | 12/13(金)~15(日) | B. 車山  | 12/13(金)~15(日)  |                      |
| C. 北海道       | 12/20(金)~22(日) | D. 車山  | 3/27(金)~29(日)   |                      |

## フリースタイルスキー '92FISワールドカップ ジャパンシリーズ

### 斑尾大会開催決定

この日、世界が目をみはる。

# 1992 3/6(金)7(土)8(日)

〒389-22 長野県飯山市斑尾高原 ☎0269-64-3311  
〒100 千代田区丸の内1-8-3国際観光会館1階 ☎03-3216-2611



## 教育部行事の過去5シーズンの経緯と問題点について

教育部理事 渡辺 茂

1987年より1991年迄の5年間は日本経済の異常な迄の成長と拡大の時期であった。日本国民全体に人々の生活面(経済的)でのゆとりができてくると、日常生活の過ごし方に目がむけられ働きバチだけではなく健康とか精神面でのリフレッシュにつとめるべきだとの声が多くあがるようになってきた。スポーツは一部のマニヤだけのものではなく、多階層の人々が様々なスタイルでプレイそのものを楽しむようになった。

スキー界も御多聞にもれず老若男女を問わずスポーツと云うよりも格好の良いレジャーとしてスキーを楽しむ人達が爆発的に増え、一説には1500万人~2000万人とも云われている。これからも冬の代表的なレジャースポーツとしてスキーを楽しむという人達が多くなることは自明の理であろう。

スキーが盛んになったその他の要因としては、①都市と地方を結ぶ道路交通網の整備、②鉄道の高速度、③スキー場設備の近代化と充実、④新規スキー場の増設一特に無雪地でも高冷地であれば人口降雪機の出現によりシーズンを通してスキーが可能になった。⑤スキー用具の機能アップにより運動経験や運動能力の有無・高低を問わずに、それぞれの技術レベルに応じてスキー技術の習得が容易にできるようになった。

以上の要因から考察できるように昔に比して一般スキーヤーが気楽に容易にスキーを楽しめるようになった。このようなスキー界の実状を認識したうえで、5年間の都連行事の経過内容を分析し問題点を洗いだしてみよう。

都連教育部ではこれらの増大する都民スキーヤーに対して、安全且つ楽しいスキーの普及と伝達のできる優れた指導者の育成と啓蒙が必要であると考え、全精力を傾むけ諸行事の中でその実現に努めてきた。

勿論都連教育部の事業方針は上部団体であるSAJ教育本部の方針をも含めた複合的なものとなっている

が、必ずしも時間的量的に地域特性も含め同調できない部分も多々生じてくるのは致し方がないことである。特に他の地域に比して、はるかに多数の会員を有している。例えば現時点での都連に登録している有資格者(準・正指導員)の総数は約5500名であるが、この中で過去5年間に資格を取得した準指導員は約1500名強の人員である。従ってこれから先の5年後には今の増加率からすると有資格者総数は7000名に達することになる。都連教育部事業の中では指導員研修会や公認検定員クリニックを通じての有資格者の把握が大変に困難になることが考えられる。これに附随して教育部事業は冬の期間に集中し、しかも雪上での展開が中心となる。時間的な制約から、事業展開の回数が限定され、スタッフ(講師・検定員)の調達については人員・時間・回数等で様々な問題が発生してくる。今後はこの事を十分に認識した上での計画の立案が必要であるし、具体的に早急に解決しなければならない。特にSAJの事業方針に併せて悠長に事をかまえた方法から脱皮し、都連執行部独自の長期計画を立案すべき時に来ている。

以下主たる教育部事業の中の問題点を簡略的に述べてみよう。

〔指導員研修会〕年毎に増加する有資格者に対しては5年前から研修会の数を増加させ対応している。シーズン最盛期は他の種類の行事を積極的に展開させ、12月~4月迄の5ヶ月間に期間を延長して研修会への多数の参加者を消化している。しかし、4月の時期は他府県がほとんど行事を実施していないため、この分だけでもスタッフ(専門委員・役員)は時間的に無理を承知で奉仕を要求されているのである。さらに、この3年間は海外研修会の開催により指導者の持つ情報の量と質の拡大をはかることとしたが、全ての面でスタッフへの負担が多くなっていることもゆがめられない事実である。これを解決するには常設的な都連の研修所

を設け専従スタッフを用意してシーズンを通して参加可能な状況設定をすとか、画期的な方法で対処することが必要である。

〔準指導員検定会及び指導者養成講習会〕日本一多い受検者数は準指導員資格そのものの価値が、東京都民スキーヤーの中に浸透している証拠であろう。人それぞれ価値観は異なるであろうが社会的な認知が年毎に強まり20才の若者から60才の熟年者迄幅広い年代層にその資格の取得が熱望されている。真の指導者としての資質を備えているかどうかは別として、スキー振興の一翼をになう鋭兵として期待するのであるならば、受検のために義務づけられた指導者養成講習会を通して執行部がどのように訓練し啓蒙するかにかかっている。例え資格を取得できなかったとしてもその経過の中で得たスキー技術や指導法はかならず、各クラブや地域に於ける一般スキーヤーへの指導に生かされ、活躍されているのである。現状では有資格者は多いけれどクラブや地域のスキー講習会では指導者が不足している。この5年間をみても受検者及び合格者は年々増加しているが、それにも増して一般スキーヤーの増加や講習会の参加者増が追い打ちをかけ、指導者不足が生じている。都連教育部では準指検定での好成績による合格者増を願い90年・91年度は養成講習会を2回に義務付けたが、その願いとは裏腹に特に実技面での低レベル化をいかんとも出来ず、特に91年度は近來にない低い合格率であった。合格者の絶対数はそれ程でもないが受検者数約1000名の多さが合格率を下げた大きな要因であった。この点については養成講習会の実技講習の在り方にも一つ工夫が必要であろう。

教育部の講師スタッフである専門委員は87年度は60名であったものが91年度は100名弱の人員に増加した。専門委員の資質を向上させることは、研修会や養成講習会の内容なり成果をアップさせるための必須条件であるが、シーズン中の活動量の多さと都連財政の節減の点から、専門委員の資質の向上をはかる場が仲々設定できないのが実状である。又社会人としての生活面とのバランスを考えると、今以上に専門委員として資質の向上を願うのは無理な面がある。常設研修所や専

従スタッフの確保等については研修会の消化と同様にその解決は急務である。

〔スキー技術選手権大会及びデモ選考会〕全日本スキー技術選手権での過去5年間における東京代表の選手活躍は目ざましいものがある。年々成績が向上し、全日本出場割当ワケが87年は12名であったものが活躍実績により24名になり、都道府県出場割当ての中では最多員出場となった。又決勝出場者も昨シーズンは19名になりこれも最多の成績となった。然し東京の選手として、他県連のようにシーズンを通して連盟の経費で合宿を何回も実施することがかなわず、むしろ関係のあるOS各社の合宿等にゆだねている状況であった。都連執行部が将来的にスタッフとして活躍を期待するのであるなら、或程度の回数の合宿を通じて心身に教育し啓蒙すべきである。研修会や養成講習会等の連盟行事での活用上の利点は、計り知れないものがある。特に87年度は4名であったSAJデモが91年度は男女合計9名になり他県連の垂涎的であった。大変に喜ばしいことである。今後共に組織の財産として連盟行事で積極的に活用することになろう。

〔社会体育指導者制度〕90年度にSAJは実験的に群馬県連に地域指導者のC級のテストを実施させ、91年度には地域と商業施設指導者への資格の移行措置を全国展開で実施に踏み切ったが、都連では時期尚早であり、論をつくしてないとして、当分の間見送ることとした。91年度秋のSAJ評議員会では東京提案により現在の指導員制度を併立的に続行するとの決議を得ることができた。現制度の様々な利点と50数年の永きにわたって築きあげてきた立派な内容を短時日で簡単に破棄するような愚挙はさけるべきであろう。当分の間は方向転換をせず冷静に見守るのみならず、むしろ現在の指導員制度を通じて現実の社会的なニーズに即した実践的な指導者作りを目指すべきである。国家検定とか国家認定とか目の前にえきをちらつかせた、期待薄の制度への転向は一考を要することである。

以上が87~91年度において特に目についた事例であり、今後の課題を含めて大雑把にコメントをしてみました。

### 分譲ホテル®

### ウイングタワー

### 販売中!

3,000万円台中心(1期分譲60戸)

- ホテルサービスが享受できる。
- スキー場、温泉等施設を豊富にする。
- 使用しない時、ホテルとして運営され、室料の一部がご自分の収入に。

●現地モデルルーム公開中



■ホテルリステル猪苗代

ウイングタワー

〒964-26福島県耶麻郡猪苗代町川桁

■お問合せ/㈱リステル不動産部

☎ 03-3356-3331

# 03-3369-9630

たくさんのお客様が私たちのツアーに参加され、満足していただいています。タイプ・コース・料金、どれも万全のチョイスです。スキーツアーは、私たちににおまかせください。

地球を滑ろうSNOW WORLD  
カナダ・アメリカ・ヨーロッパ・ニュージーランド方面  
南太平洋の島々へBEACH WORLD  
ニューカレドニア・フィジー・タヒチ方面

主催 株式会社 クロサワトラベルサービス  
運輸大臣登録一般旅行業第351号・一般旅行取扱主任者江川恵語  
〒169 東京都新宿区百人町1-10-10クロサワトラベルビル  
FAX 03-3369-0088 NTTフリーダイヤル0120-00-9638



クロサワトラベルサービスは社団法人日本旅行業協会(JATA)の正会員です。

## 期待に応えられる競技部をめざして

競技部長  
小川和雄

昭和62年度の競技部の行事日程と現在のそれを比較すると、競技会会場が一新したことに、今さらながら驚かされます。

新しく競技会会場に選んだスキー場と競技会名、その理由などは次のとおりです。

### 1 菅平高原スキー場

#### ①ミズノカップ・都選手権・国体予選大回転

長年にわたって石打丸山スキー場で開催されてきた本大会を菅平・大松山（現オオマツゲレンデ）に移したのは、人工降雪による固い雪質に加え、標高差250mという公認大回転コース条件を十分満たすうえに、国際的にみても高いレベルにあるといわれる変化ある斜面の連続である同スキー場チャレンジコースの存在でした。

選手のみなさんには移転当初こそ「とまどい」もみられましたが現在は「自信满满」でコースに挑戦していく姿が見られ「東京のレベル向上」にオオマツゲレンデの選択は誤りではなかったと考えています。

#### ②ノルディカ・ケスレー回転競技

本大会は「雪なし県」として初めて都連がSAJ公認B級大会を菅平高原の協力を得て開催したものです。

シーズン初めの12月中旬に人工雪のオオマツ・グランプリ回転コースでSAJポイントレースを開催することは、将来性ある若手レーサーにとって貴重

な登龍門となります。

しかも都連には、主催者として特別出場枠が与えられますので、これを利用して都連ジュニアにSAJポイント獲得のチャンスを与えられます。

#### ③クラブ対抗・都民大会

都連最大のイベントである本大会こそ、石打での開催以外考えられないくらい地元との長年の交流の歴史がありましたが、打ち続く暖冬・少雪は、ついに人工雪の菅平高原に移ることになりました。

選手・応援団のみなさんにも、交通至便しかも行き慣れた石打から菅平に変わってとまどいもあったと思います。

しかし、それをカバーして余りある人工雪の硬い斜面、クロカンコースが隣接することなどのメリットを一般にご理解願えたことと考えています。

### 2 野辺山ハイランドスキー場

#### ①南関ジュニア・全中予選

#### ②南関ジュニア選手権

この2つのアルペン競技会は例年雪不足に悩まされてきましたが、野辺山ハイランドスキー場の開場にともない、その人工雪の固い斜面にひかれて、上越地区から移ってきました。

その後、毎年のように少雪のシーズンに直面していますが、当競技会はいずれも中止にあうことなく過ごしてきました。

大回転コースはやや短かい悩みがありますが、東

京から近いなどのメリットも多く、今後とも地元の協力を得て競技会を開催していきたいと考えています。

### 3 札幌テイネスキー場

本スキー場では平成3年度から、都選手権・青年回転競技を開催しています。

なぜ、はるばる札幌までいくか——というと、東京近郊のスキー場で正式な回転競技会を開催できることはなくなってしまったためです。つまり地元の最大の問題は、役員・旗門員などスタッフがいないことです。札幌の場合、札幌スキー連盟のベテランスタッフが責任をもって運営してくれますし、オリンピック回転コースが全面使用可能です。

選手のみなさんは、シーズン中の忙しい日程のなかで札幌まで足を延ばすこととなりますが、これらの点にご理解を願い、積極的に今後とも参加されることを期待します。

### 4 今後の展望と抱負

過去5年間の推移をみると、競技会については会場変更がメインテーマであったようです。会場については一段落したようなので、今後は次の点について競技部全体として努力したいと思います。

#### ①競技会運営の充実

それぞれの競技会地元のスタッフとも一段と連絡を緊密にして、より充実した競技会の開催に努力しつつ「参加して楽しい」競技会を目指します。

#### ②コンピュータ利用の推進

現在、アルペンポイントの計算にはパソコンを利用していますが、次のステップとして各所属団体の競技会エントリー事務負担軽減と競技部専門委員ス

タッフの競技会プログラム作成事務負担合理化のため、コンピュータでのエントリー読み取り様式を検討中です。

#### ③ジュニアの育成

都連の有力中学生選手は全国中学校大会でも上位入賞を果たす実力を有し、北海道、長野、新潟などの有力「雪有り県」を脅やかすところまで来ています。


今後、選手ご父兄はもちろん、都高体連・中体連のご協力を得て、ますますジュニアの育成に努めたいと思います。

#### ④クロスカントリーの充実

クロカンの底辺人口の拡大からスタートして、その充実に努めたいと思います。

いずれにせよ、都連60周年に向け競技部理事、専門委員全員が努力するつもりですので、会員のみなさんのご理解、ご支援をお願いします。





東京都スキー連盟公認スキー場

## Shiga Sun Valley

志賀高原サンバレースキー場 TEL 0269-34-2255  
法坂スキーリフト株式会社 FAX 0269-34-2616

# 磨いてきた世界が違う。




品名: ATOMIC 有 SKISCHULE C3 品番: SRS 24B 輸入業者希望小売価格 ¥99,000

- 材質/芯材: 木製(セラミック+ケブラー®) ラミネート: 合成樹脂 滑走面: 合成樹脂 (ISO SPEED TYPE B)
- 構造/ハイテクノロジー: (B)AHMS® ●カラー/(B22)ブラックメタリジェリンオレンジ ●サイズ/180cm~200cm (5cmきざみ), 203cm ●オーストリア製



## ATOMIC

S K I S

株式会社 アシックス

●表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。●文章中には、登録商標を記載していません。●(B)はATOMIC社の登録商標です。ただし、ケブラーは米国デュポン社の登録商標です。●商品についてのお問い合わせは、(株)アシックス消費者相談室までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町丁目1番1 TEL (078) 303-2233(専用)・(078) 303-3333(大代表) 〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 3624-1814(専用)・(03) 3624-2221(大代表)

## 推移と今後の抱負

### フリースタイルスキー部長 大 槻 護

東の空が、しらじらと明るくなりまさりゆく様子を眺めて、この静寂さの中で何か新しい世紀への息吹のようなものを熱く感じ乍ら、長野五輪冬季大会招致成功の喜びをかみしめている。

NHK総合テレビが企画したIOC総会々場の英国バーミングハム市、地元長野を結んでの特別番組によって、サマランチ会長の『シティオブ、ナガノ』の発表にホッと胸を下ろしたところだ。

ちょうど1週間前に、国際スキー連盟(FIS)のカレンダー会議に出席していたが、長野に不利な情報が次々に流され、いささか不安だっただけに、この喜びもまた、ひとしおである。曰く、五輪反対同盟の人達が20人余現地に入って氣勢を上げているとか。IOC会長と堤SAJ会長を漫画化した表紙の反対文書が、各国関係者に配布されていて、金銭で五輪を買収するのか?という金権ジャパンを非難というか反撥も見られ、その上IOC公式調査報告書が発表されてUSA、ソールトレック・シティが断然優利になった等々であった。

しかし、結論は下されたのである。1998年迄には、フリースタイルスキー3種目共(モーグル、パレエ、エアリアル)正式種目になっていることであろうから、あと7年しかない日本でのオリンピックに、恥ずかしくないような選手をどう育ててゆくかが、大きな課題になるであろう。と書くとき与えられたテーマに対して、半分の答えはでてしまったようなものだが、ここで少し過ぎた数年を振り返って見たい。

国内的に見れば、連年の雪不足に苦しめられて3種

目全部実施できた、都選手権大会は2年に1回位の割合になるが、第10回を迎えた今年まで毎年実施して来ており、全日本選手権大会への参加ポイント取得のためにも重要な大会となって、参加選手も既に200名を越える程となり、来年辺りから選手のシード制を導入して運営の合理化をはからなければならぬようになって来ている。雪上の大会の他、フリースタイルスキー独特の、夏季のウォータージャンプ選手権大会も毎年実施しこの成果が雪上のエアリアル種目で『神風特攻隊』と、他国から言われる程に高度な技術の基礎になっていることは否定できない。

又大会だけではなく、WJのオフトレと、各種目別の教室、昨シーズンからモーグル種目だけの競技会を新設して、取りあえず五輪正式種目となったモーグル競技の普及と有望選手の育成に力を入れている。

運営面では、他県連に先がけて役員の養成に努めてきた結果、次のような有資格者を擁するに至り、本連盟の行事のみならず、全日本さらにワールドレベルの大会にも協力して、大きな貢献をしている。

公認審判員 A・B級18名(含FIS審判員2名)  
公認技術代表 6名(含FIS技術代表B-3名)  
競技運営指導員 7名

平成2年12月には、念願のフリースタイルスキーの教本を発刊し(スキージャーナル社)、今後の進むべき方向を、各種目別にまとめ更に技術向上のトレーニング方法、また日本人の弱点であるメンタルな弱さにどう対応するか等の指針をまとめることができた。

1985年、当時の菅専務理事の英断で、日本で初めて、外国から優秀な選手を多数招待してフリースタイルス

キーのプロ、アマオープン国際競技会を、本連盟主催で、新潟県小田急スキー場で開催したが、(SAT日より15号参照)今考えてみると、この大会はまさに、我々にとって画期的なターニングポイントであったし日本の選手にとっては世界のレベルを自分達の眼で見たことで、具体的な目標設定に強い意欲をわきたたせ

たのである。  
以来次表のように、各レベルの国際大会を日本に招致することが出来たし、日本選手を諸大会に派けんするようになったのである。  
(★印の大会については、参加選手の感想をそれぞれのSAT日よりに掲載してあるのでご参照下さい)

|      |    |                    |                     |            |
|------|----|--------------------|---------------------|------------|
| 1986 | 2月 | '87 FIS国際選抜競技大会    | (新潟県 小田急スキー場)       |            |
|      | 2月 | 第1回 世界選手権大会        | (フランス、チニユ)          |            |
|      | 5月 | 国際ウォータージャンプ競技大会    | (東京、代々木 国際スポーツフェア)  |            |
| 1987 | 2月 | '87 FIS国際選抜競技大会    | (福島県 猪苗代リステルファンタジア) | 62年 ★(20号) |
| 1988 | 1月 | FISワールドカップ         | (福島県 猪苗代リステルファンタジア) |            |
|      | 2月 | FISジャパンシリーズ 第1戦    | (長野県 斑尾高原)          | 63年        |
|      | 2月 | FIS " 第2戦          | ( " " )             |            |
|      | 2月 | 冬季オリンピック大会         | (カナダ カルガリー)         | ★(22号)     |
| 1989 | 2月 | 第2回 世界選手権大会        | (西独 オーベルコッホ)        |            |
|      | 3月 | FISパンパシフィックKSS競技大会 | (長野県 斑尾高原)          | 元年         |
| 1990 | 2月 | FISワールドカップ         | (福島県 猪苗代リステルファンタジア) |            |
|      |    | FISジャパンシリーズ 第1戦    |                     | 2年         |
|      | 2月 | FIS " 第2戦          | (長野県 飯綱高原)          |            |
| 1991 | 2月 | 第3回 世界選手権大会        | (アメリカ レイクプラシッド)     | 3年 ★(28号)  |
| 1992 | 2月 | 冬季オリンピック大会         | (フランス アルパートビル)      |            |
|      | 2月 | FISワールドカップ         |                     |            |
|      |    | FISジャパンシリーズ 第1戦    | (福島県 猪苗代リステルファンタジア) |            |
|      | 3月 | FIS " 第2戦          | (長野県 斑尾高原)          |            |

あらためてリストアップして見ると、よくもマアアという感じである。これらの大会において、都連選手達の活躍は(★印都連だよりを参照して頂きたいと思うが)まことに立派であったと思う。ところが、現在のトップに続く選手ということになると、まことに心細いのが実態である。そこで執行部としては、熟慮検討の結果、来シーズンより、SAJのナショナルチーム入りを目指した、都連強化指定選手制度を導入して、次の時代を托せるような選手の育成と強化に全力を入れて行くこととした。

体力測定、トレーニングメニューの作成、メンタルトレーニングの実施等々、『五輪選手を都連から』を合言葉に、全力を尽して行きたいと決意している。大方のご支援、ご協力を旧に倍してお願い申し上げたいと思う。

この静寂さを破ってまもなく顔を出すであろう6月16日の太陽のように、フリースタイルスキーが、都連にとって大きな輝やきになることを夢にし、信じながら当部の抱負の一端とします。

最新刊 『91技術選PARTEE』  
第28回全日本スキー技術選手権大会  
税込価格2,000円(送料別)H.S.S.の  
税込価格2,000円(送料別)

スキー図書・新刊  
マイ・ファースト・スキー  
(自然流感覚的スキー上達法)  
村屋敏彰、藤崎雪男共著  
定価1,000円(税込)200

沢田敦のフィジカルスキー宣言  
沢田敦著 定価1,000円(税込)200

新刊『91技術選PARTEE』  
第28回全日本スキー技術選手権大会  
税込価格2,000円(送料別)H.S.S.の  
税込価格2,000円(送料別)

スキー図書・新刊  
マイ・ファースト・スキー  
(自然流感覚的スキー上達法)  
村屋敏彰、藤崎雪男共著  
定価1,000円(税込)200

沢田敦のフィジカルスキー宣言  
沢田敦著 定価1,000円(税込)200

新刊『91技術選PARTEE』  
第28回全日本スキー技術選手権大会  
税込価格2,000円(送料別)H.S.S.の  
税込価格2,000円(送料別)


スキー図書・新刊  
マイ・ファースト・スキー  
(自然流感覚的スキー上達法)  
村屋敏彰、藤崎雪男共著  
定価1,000円(税込)200

沢田敦のフィジカルスキー宣言  
沢田敦著 定価1,000円(税込)200

新刊『91技術選PARTEE』  
第28回全日本スキー技術選手権大会  
税込価格2,000円(送料別)H.S.S.の  
税込価格2,000円(送料別)

スキー図書・新刊  
マイ・ファースト・スキー  
(自然流感覚的スキー上達法)  
村屋敏彰、藤崎雪男共著  
定価1,000円(税込)200

沢田敦のフィジカルスキー宣言  
沢田敦著 定価1,000円(税込)200



91シーズン・新刊大好評発売中  
スキー・ジャーナルの  
スキー図書&VTR

株スキージャーナル  
〒160東京都新宿区四谷3-11山一ビル  
☎03(3353)3051 郵便振替・東京0-33504

## 増加するスキー事故と安全対策

傷害防止対策委員長  
内田時雄

90年代に入り、日本のスキー人口は1000万人とも1500万人ともいわれるまでに増加してきました。私たちは都民の社会体育におけるスキーの健全な発展を願っていますが、残念ながらスキーにおける事故が年々増加しているのが実情です。最近の調査によると若い世代の受傷者の割合が増えているのが特徴であるとの報告を受けています。また、大きな事故の発生や事故に基づく賠償等が問題にされるようになりました。これらの対応を誤るとスキーの健全な発展にとって憂慮すべき問題に発展する恐れもあります。都連傷対委としてはこれらの問題の解決策等を加盟団体の皆様と共に考え、安全対策をさらに推進していきたいと常に思っております。

救急法講習会においては、加盟団体の安全対策担当者の出席をお願いし、準指受検者と共にスキー傷害の実態、受傷者の対応などについて学んでいただいています。講習会は表1のように出席率も大変高い講習会であり、500名から600名の熱心な参加者が日本赤十字社小島先生の講義などを受けています。本年も9月23日に勤労福祉会館において開催しますので、加盟団体安全対策担当者の方の多数の出席を要望しています。

表1 救急法講習会出席者数の推移

| 年度   | 申込者数 | 出席者数 |     |     | 出席率   | 欠席者数 |
|------|------|------|-----|-----|-------|------|
|      |      | 男    | 女   | 計   |       |      |
| 1987 | 592  | 474  | 102 | 576 | 97.3% | 16   |
| 1988 | 635  | 491  | 119 | 610 | 96.1% | 24   |
| 1989 | 618  | 492  | 108 | 600 | 97.1% | 17   |
| 1990 | 677  | 536  | 119 | 655 | 96.8% | 22   |
| 1991 | 649  | 488  | 139 | 627 | 96.6% | 22   |

さて、SAJ公認パトロール制度が1961年に制定されています。表2のように東京都スキー連盟からも毎年合格者が誕生していますが、本年度も9名受験し7名が資格を取得しました。都連には現在112名のパトロールが登録されています。

公認パトロールになるには傷対委専門委員研修会に併催されている養成講習会に出席することが必要です。この養成講習会では受検に際しての必要な理論、雪上におけるスキー技術、ポート操作法、室内での救急法実技、ロープワーク等の内容について技術員、専門委員からの指導を受けています。なお、92年度のパトロール養成講習会は12月21日より23日まで車山高原において合宿形式で行なわれます。パトロール受検についての問い合わせも多いので事務連絡担当者会議で詳しい説明をいたします。

今後、都連傷対委委員会は安全対策委員会への名称変更を考えており、内容の面でも医事関係の方々にもご協力をいただきながら委宅を回り都連発展に寄与していきたいと考えております。

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

表2 公認パトロール合格者数の推移

| 1987 | 1988 | 1989 | 1990 | 1991 |
|------|------|------|------|------|
| 4名   | 1名   | 3名   | 9名   | 7名   |

## 規約等検討委員会の活動状況について

規約等検討委員会  
委員長 相良直哉

規約等検討委員会では、監督官庁である東京都教育委員会よりの指摘事項（下記）について、執行部よりの検討依頼および諮問を受けて検討しています。

〈監督官庁よりの指摘事項〉

1. 寄付行為の改正についての検討。
2. 寄付行為に優先する運営規則の改正。
3. 基本財産の増額。
4. 事務処理は「公益法人事務の手引き」に準拠する。

当委員会では、東京都スキー連盟の法人化以来の監督官庁からの指摘の経緯、民法に定める公益法人としての財団法人に関する規程、監督官庁における法人監査の流れ等を検討し、上記の指摘に沿った対応を検討せざるを得ないと判断し、次の答申を行ないました。

1. 寄付行為については、監督官庁よりの指摘に基づいて修正し、見直しを行うこと。
2. 寄付行為に優先すると指摘された、運営規則ならびに関連諸規程については、廃止を含めてこれを修正、見直しをすること。
3. 上記に関する見直しは、加盟団体に十分説明し、コンセンサスを得て進めること。

ところで、民法34条は、社団と財団との2種類の公益法人について主務官庁の許可を得て設立できると定め、37条で社団法人の定款に規程すべき事項を、また39条で財団法人の寄附行為に定めるべき事項を明記しています。財団の場合、目的、名称、事務所、資産、理事の任免について寄付行為に定めることを義務づけ

ているのに対し、社団法人の定款ではこれらの項目に加えて社員資格、総会の招集方法と決議事項を定めることとしており、「人の集り」という基本的な性格の社団と「財産の管理・運営」という基本的な性格の財団とを明確に区別しています。さらに、46条では目的、名称、事務所、設立許可年月日、資産総額、出資方法、理事の氏名・住所を登録することとしています。

また、関連法規等において、公益法人の事務処理、会計処理（収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録、会計方針・方法変更等に関する計算処理に関する注記によること）についても基準を定めて、手引き等に基づく監督官庁の指導が行われるようになっていきます。

東京都スキー連盟の法人化発足当時のいきさつや、監督官庁の対応はともかく、その後の経過と公益法人を巡る状況を勘案すると、監督官庁の指摘を受け入れいかざるを得ないと判断される訳です。

要は、加盟団体の意見・助言を組織・事業の運営にいかにして反映することができるか、そのための仕組みや方法を具体的に検討し、加盟団体のコンセンサスを得ることがこれからのプロセスとして最も重要な点と考えます。法人化当時の経済や形式的な法律論にいつまでもこだわってはいけません。この問題の進展と解決は望めません。当委員会の検討と評議員会における質疑応答も4～5年に亘って行なわれており、今後は都連の組織と事業の具体的な運営に踏みこんだ議論と積極的な提案を期待いたします。

スキーをエンジョイしていますか？

**YES** こたえるゲレンデです。 URBAN & RACING **NO** **BEYAMA**

Nobe.yama

株式会社 野辺山ハイランド 〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山 ☎0267(98)3070 〒100 東京都千代田区丸の内1-8-2 ☎03(3284)9879  
株式会社 鉄鋼ビルディング 〒100 東京都千代田区丸の内1-8-2

都連の皆様の  
ホームゲレンデ



スイスダボス姉妹都市

東京都スキー連盟公認第1号スキー場

信州 **菅平高原スキー場**

今シーズンのご利用ありがとうございました。  
来シーズンもよろしくお願い申し上げます。

**菅平高原観光協会**

〒386-22 長野県小県郡真田町菅平 ☎0268-74-2003(代)

# 国際委員会の活動

国際委員会委員長  
二宮 浩司

近年都連の行事は年を追うごとにInternationalな交流が盛んになって来た。そんな中で、タイミング良く発足した委員会も、早いものでもう足かけ2年が過ぎた。以下にその2年間の足どりと今後の活動計画についてまとめてみた。

## ◎海外向け広報誌「Ski Activities」の刊行

海外のスキー団体や観光協会に対し、都連の活動状況を紹介し理解を深めてもらうことを目的とした英文による「Ski Activities」を発刊した。

刊行にあたっては、盛田会長からの援助金と「ソニー」や「日本スポーツレクリエーションアカデミー」からの広告協賛など、各方面から多大なご協力をいただき立派な小冊子が出来上った。すでにインタースキーや海外指導員研修会では大いに活用している。加盟団体の皆さんが海外スキーに出かける時は、ぜひ持参して都連をPRしてほしいと考えている。

## ◎海外スキー研修生の派遣

都スキー技術選手権やクラブ対抗競技会において優秀な成績を修め、将来が期待される若手選手を選考し、すでに5名(平成2年:2名、平成3年:3名)をフランス、ラブラーニュに派遣した。平成4年度は女子の選手やフリースタイルの選手なども加えて、できれば4~5名の研修生を派遣したいと考えている

## ◎海外スキーの最新情報に関する「ワークショップ」の開催

「オーストリア・デモを囲むパネルディスカッション」や「ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、ニュージーランドなどの政府観光局と共に」海外スキーに関する最新情報の交換を目的としたワークショップを開催するなどして、加盟団体の皆さんと共に国際交流を深めて行きたいと考えている。

'95野沢でのインタースキー、そして'98長野オリンピックへと2大イベントが決定をみて、21世紀への道のりがしっかりとみえて来た。

平成4年度も、また「フランス」や「カナダ」での指導員研修会が計画されている。今後益々国際交流は盛んになるだろう。そしてスキーは文化や言語の壁を乗り越えて「世界共通のことば」として国際親善と世界平和に大いに役立つことだろう。そんな中で、東京の果す役割は大きい。



# 3度目のベイルから帰って

稲垣 彰

連続3回ともなると余裕ぶりも大したものである。何しろ、初参加は、4名しかいないのだから。

例えば、デンバーで我々のスキーが全部と、トランクが1個着かない。で、カウンターを“バーン”、中の係員(娘ッ子だ)を指差して、「今夜の10時まで届けよ」……。

通じるとか通じないとかは問題ではない、向こうの返事が判らないのだから。ハンフリーボガートみたいに格好よく、我々はベイル行きのバスに向かって歩いた。「全員レンタルスキーかな、ニシザワと何があったけ」なんて、頭の片隅でチラリ……。

途中のスーパーでは、カート山盛りに10台は買った。肉、野菜、ジュースそして次回のために、ドックフードの味見をした人もいた。

今年のベイルは、新雪もあるぐらいで、総体的に雪が柔らかかった。

校長がいなくて(インタースキーのため、幹部は全員ヨーロッパ)これだから、なんて腹の中で思いつつ。(コース整備の手抜き)例年になくフクヨカな風景と彼の地の新しい雪の乗り心地を楽しんだ。(同行のクラブ員は、柳とユキの故だと思っていたー私だけがソウは思ワナカッタ)。

留守居役兼、城代家老のケン伊藤氏も、天井がない故か、伸びやか。ムムッ今年の彼は切れるな!!で気合いがはいる。

彼のアレンジによる、いきの好い4名のイントラ。1人は日本の技術選に出る女性。監督でもあるケンさん、「この滑りは日本の技術選でどうだろう?」

私は、「年はいってるが、チャーミングな目だな」なんて見とれていたのが大慌て、「イイネエ」と真面目に答えた。

4名の男女のイントラ、一見ひ弱そう。雪国の奥に住んでいる、田舎のスキーヤーみたいだったが、1m



も滑らないうちに、我々は、アドレナリンの総動員を感じた。

もう、一生懸命。入れ代わり立ち代わり、彼等と小グループを作って滑りに滑った。

満足、感動、友情。湾岸戦争が起きた。しかし、彼等の国の人間が殺し合うはずがない。

満足、感動、友情は明るくの日もあり、そして夜のパーティーへと続き、日本での技術選でも再現された。

私達は、静かに夜のベイルを觀賞し、つつましく土産を買い、ジャグジーとプールでは、それとなくイニシヤチブを取ってベイルのナイスアフタータイムに協力をした。

でも、印象を変えず、中身が急速に変化してゆく街や、コース。それにスキーヤーの数と質。

勿論、数と、先進性では日本は比ではないけれど。経営を日本のスキー場を参考にしたいと言い、でもウイスラーみたいにはしたくないと言う。悩んでいるのかなと思えるベイル。

私達は高く評価し、羨望する心の故郷のようなベイルをどうしても守りたい。

だから、ベイルにふさわしい観光客として、コースにふさわしいスキーヤーとして、努力し、好感をもって迎えられよう心掛けたい。そして、いつまでも訪れつづけたい。

ベイルよ、変わるな、今のままの姿が一番美しいんだ。

国内スキー(ウィンター&サマー)

- 大学、社会人クラブの各種合宿プラン
- バス、列車、航空機、宿泊の手配
- ゲレンデ直行バスがさらに充実。
  - 方面/志賀金山、蔵王、野沢、斑尾、草津、白馬山麓など16ルートにワイドに運行。
- 海外スキー(ウィンター&サマー)
  - 記念事業としてのツアーなど、各種イベントツアーは、プランニングからお世話しします。
  - ヨーロッパ、アラスカ、カナダ、ニュージーランドへは、信頼のブランド「LOOK JTB SKI」でおかけください。

★ Call ☎ ☎ First  
SUN&SUN

スポーツ旅行のプロフェッショナル、  
あなたのパートナーです。

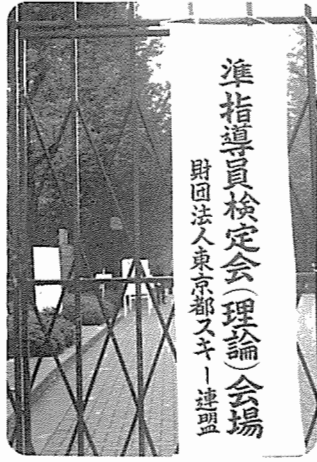
JTBグループ  
SUN&SUN  
運輸大臣登録一般旅行業第568号

〒130 東京都墨田区両国3-26-5 両国ビル  
SAJ旅行社協力会員 SAT賛助会員 営業部 03-3634-5276

その他、アウトドアスポーツ(テニス、ヨット、ウインドサーフィン、ダイビング、乗馬、登山、キャンプなど)のことなら、信頼と実績のある当社で、ぜひ!! カタログご希望の方は係員までお気軽にご連絡ください。

# ～年間行事を追いかけて～

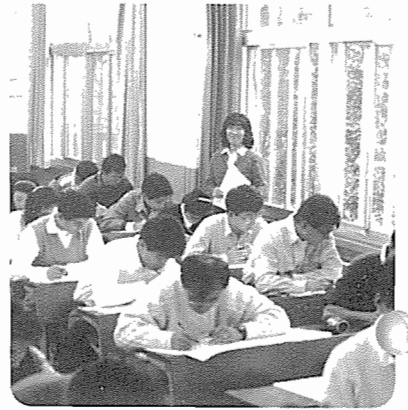
## ○準指導員をとるまで



検定会場(青山学院大学)  
11月



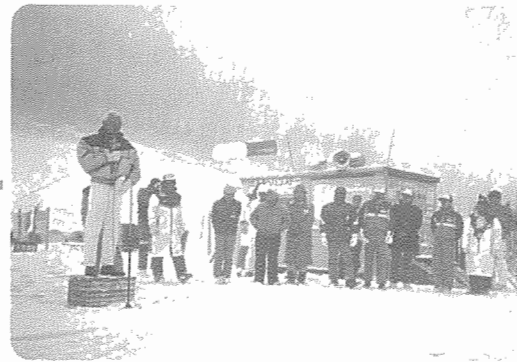
受け付け風景



宮崎デモも  
今日は試験監督



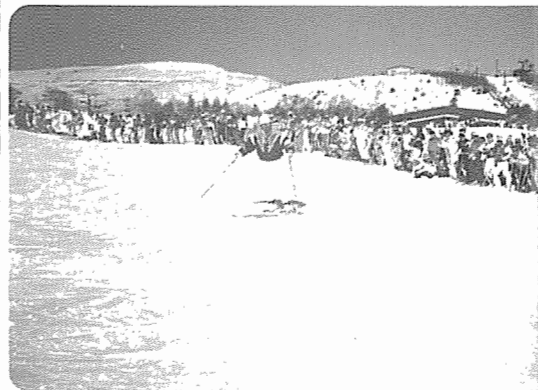
受験生は真剣



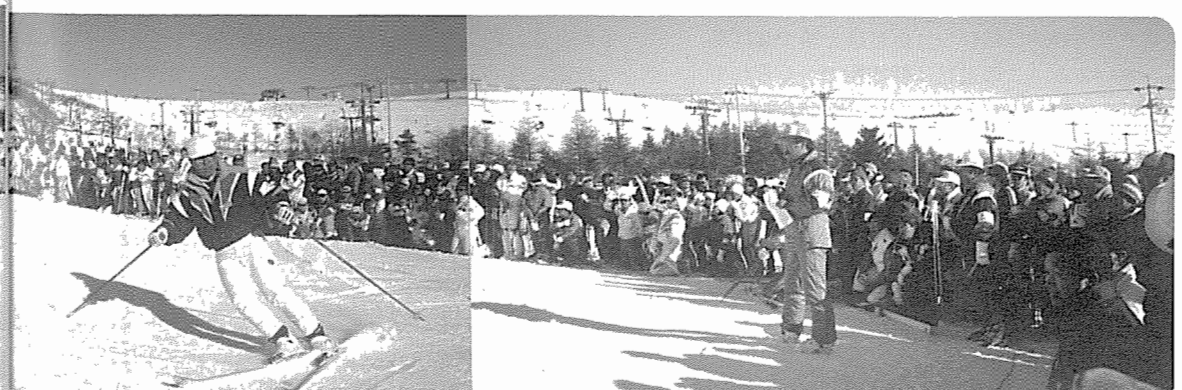
風雪悪天候の中かけつけ  
激励される盛田会長  
(2月)



準指導員合格晴れて認定式



受講生の眼は滑りに集中



指導員研修会公認検定員クリニック

## ○55周年記念雪上行事 (3年3月 菅平高原スキー場)



この表彰台に多くの覇者が立った



クラブ対抗表彰式

## ○準指検定会場視察に



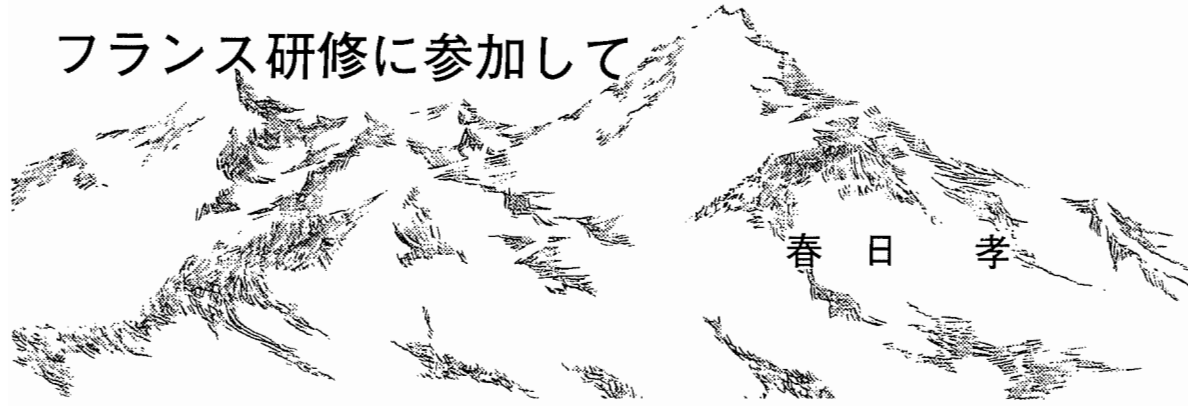
スキーウエアで  
ひとすべり おでかけ前

## ○技術選手権大会 (90年1月)



男子表彰式

# フランス研修に参加して



フランス、ラプラーニュスキー場は、スイスジュネーブから車で2時間程の、家族で利用できるマンションやホテルが多く建ち並ぶ長期滞在型のリゾート地である。近くにバルディゼール、グルノーブル、ティエニュー、1992年オリンピック開催地のアルベルトビルがあり、このラプラーニュにはボブスレー、リュージュ会場があり、コース整備が進められていた。まず、第一にスキー場の地形、規模、輸送機関についてであるが、コースは自然の地形を生かした山岳コースであり、標高1250mから山頂の3250mまでゴンドラで一気に登られて、様々なコースが用意されていた。高地の為樹木は全くなく、尖った岩だけが点在しているが、斜面が雄大なので何の支障にもならずダイナミックに滑ることができる。日本のスキー場の様に細かな安全への配慮は行き届いていないがと言うより、間に合わないのかも知れないが要所の標識は必要十分であり、インストラクターもガイドの資格を持っている方が多く、最善の努力がはらわれている。そして感じることは、自分を守るにはスキーヤー自身の自主性が大切であるということで、すぐに責任問題に発展する日本との違いを感じさせられた。我国では親切すぎて、スキーヤー自身の安全に対する意識、自己防衛能力を退化させているのではないかとさえ思う。蛇足になるがスピードイコール事故と短絡的に結びつけ信号機を殖やせば事故が減ると思ひこみ「この道路は軽油税でつくられています」等という意味のない看板が多く大切な標識を見落としてしまう様な日本の交通安全を思い出したのは私だけだったのだろうか。

さて、オフピステをガイドのエスコートで滑ったのだが、至る所滑走可能であり、一日に50kmもの距離に及んだ。ここはスキーヤーと自然とがより一体となって楽しめるスペースであり、又危険も多いだけに気を

引きしめて滑った後の安堵感、充実感は格別であり、ヨーロッパ山岳スキーの歴史の長さを感じさせられたリフト、ゴンドラについては、最新式のものも少なかったが、それでも日本のよりも速いものも多かった。又、Jパーリフトが多く3kmに及ぶものもあった。

第二に、スキーに対する取り組み方であるが、取り組み方なんて言葉は、まさに勤勉さ、努力という指導員好みの雰囲気になってしまうが、このラプラーニュではスキーヤーは楽しむために来ている、ストレス解消に来ているのであってスキー場の片隅で固って人目を気にしながらコンコンと滑っているスキーヤーはいない。皆、斜面の下へ向かってカッコウなんか気にしないでドンドン滑っている。我々を案内してくれたインストラクターは技術的なものよりスキーの楽しみ方を、条件、状況を変えて教えてくれ、親切で献身的なエスコートは、ガイドとしても訓練を積んだ指導者としてとても好感が持てた。又、スキーだけでなくモノスキー（フランスチャンピオン）、パラグライダー、ダイビングと様々なスポーツにチャレンジしている姿勢も素晴らしいことである。滑りの中からは、ワンタンの正確さというより全体の流れを大切に、エアリアル等、自然の地形を利用したパフォーマンスを見せてくれた。第三に、研修を終えて自分自身が本当のスキーの楽しさ、楽しみ方を忘れていた事に気がついた。細かな技術に捉われることなく、滑りの流れ、自己表現、満足感というものを求め、又その事を指導の中に十分とり入れ、生徒にとって充実した時間を与えることが大切であり惹いてはスキー人口の拡大につながるものと確信している。

最後に、フランス研修という貴重な体験をさせて頂きまして、東京都スキー連盟関係各位に対して、深く感謝しております。ありがとうございました。

登録番号 No. 5

## 日立本社スキー部

横井 幹

日立本社スキー部の創部は、昭和4年10月といいますが今年で62年目、都連が今年で55周年を迎えられるとのことですが、それより古い伝統のあるクラブです。多くの諸先輩の中で、都連で活躍された長谷川先輩と元オリンピック選手の伊黒先輩には、特に長きに亘り当クラブの会長として御指導戴きました。

我がクラブの特徴は、呼んでの通り会社に属する運動部であるということです。会社における職域活動の中心的存在になっており、会社の主催する年2回のスキー教室や組合の主催する年2回のスキーツアーには全面的に協力しております。このことは、クラブの活動にかなり負担をかけていますが、逆に会社からの金銭的な援助を受けており、クラブを運営する上での大きな助けとなっています。クラブ独自の合宿は年4回、都連の競技会や研修会を年10回程度をこなしていますので、1シーズン合計すると18回にもおよぶ行事を消化しています。現在の部員数は、230名余りで内正指5名、準指8名です。昨シーズンには、久々に東京都代表として国体へ選手を送り込むことができましたが、活動の実態は業務多忙と過密スケジュールのため、若手選手や指導員を育成するのが困難となっています。

本来ならば、伝統ある加盟クラブの一員として都連の運営に積極的に参加すべきではありますが、残念ながらその実力と余裕がありません。この辺に会社クラブの限界があるようにも思えます。

とは言っても少しでも皆様のお役に立てるよう努力して行きたいと思っておりますので今後とも御指導の程よろしくお願い致します。

登録番号 No. 55

## 楽しいスキー

東京パラレルソサエティ

津久井 勲

私達のクラブは、昭和32年3月に東京都スキー連盟に東京パラレルスキーソサエティとして加盟させていただき、今年で34年間スキーとともに、自営業、店主、サラリーマン、OL、といった職種の違ったスキーの好きな者と歩んでまいりました。私達のクラブも以前は競技スキー、基礎スキー、両部門で活躍してまいりましたが、最近では人材に恵まれず競技スキーは手薄になり、基礎スキーにしか手が回らなくなっています。しかし有資格者を何年も間を開けることなく出す事が出来、クラブとしては良い方向に向っていると思えます。

現在クラブ員が約50名、そして有資格者が20名のスタッフでクラブの行事を行っております。

最近のスキー人口の急増に対してクラブとしても、何か貢献したいと考え、一般のスキーヤーを対象としたスキースクールを年2回開催し、このスクールは、一般スキーヤーの技術の向上、安全なスキー、楽しいスキー、これらを目指してビデオ撮影を取り入れながら楽しく行なっています。この2回のスクールはバジテストを行なうのでクラブ員は楽しく張り切る場である。又12月の初滑りから5月のゴールデンウィークまでの合計5回の合宿を行い、中でも5月合宿は毎年SAJデモを招き、特に上級者及び資格者は技術の上達をめざしている。この技術が自分の身に付いて初めて楽しく滑る事が出来るのではないのでしょうか。

私達のクラブ員は、クラブで何かをしてもらうのではなく、自分で何が出来るか試す場所である。

信州 **信濃平** SHINANO DAIRA

マッターホルンの町スイス・グレーヘンと姉妹提携

北信濃の素朴さを残すモダンなスキー場、SAJ公認大回転コースをはじめ、バラエティ豊かなゲレンデにリフト6基。

合宿・ポールのトレーニングの穴場中の穴場です。都連の皆様のお越しをお待ちしています。

祝 '98長野オリンピック

お問合わせ・お申し込みは

信濃平観光協会

〒389-24

長野県飯山市大字中曾根110  
☎02696-2-2225(代)

株式会社

サン&サン ☎03-3634-5276

## 4半世紀をすぎて

ヌブリスキー同人

鈴木 毅

ヌブリスキー同人は昭和40年、スキーに集う山の仲間達で発足いたしました。爾来25有余年、初代の会長中山真でスタートし、2代林権一、3代浅野和行と引継がれ昨年鈴木毅が4代目に登場しております。

設立から已に4半世紀、二世会員も増えて今は登録会員160余名を数えるクラブに育ってきました。従ってスキー活動の幅も広く多種多様、競技スキー約30名、デモ選基礎技術選手権に約10名、その他は一般スキーとすることになります。温泉雪見酒派の超キャリア組、昨今はやりの海外派などそれぞれにターゲットを捕えてスキーを楽しんでおります。

以上の中からスキー界に貢献すべくSAJ技術研究委員会に基礎スキー技術の柱として増田千春氏を送り、林権一氏を東京都スキー指導員会及日本スキー指導員会初代幹事長として送ったこともあり、今でも各々の立場で後進の指導或いは組織の育成に活躍をされております。

クラブ内では各部門ごとに担当理事を選任し行事等の企画運営に携わっていますが、機関紙として会報「奴布里」(B5版8~10頁)が年10回発行され目下第218号。歴代の編集者が頭をシボって楽しい発刊を続け遠くは北の旭川まで(帰郷したが会員)に送られております。又年次総会の他月例会も会報と同じく年10回の開催があり情報交換、技術論をタタ交し?会員相互のコミュニケーション広場を提供しております。例年正月には競技、基礎、ファミリーと各個に行事が実施されていますが、来たるシーズンではこれらの合同開催を計画しています。

終りに、当クラブ10周年20周年を初め雪上陸上にご指導戴きました各クラブ諸先輩方に本誌面をお借りして厚く御礼申し上げますと共に今後共、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## クラブ紹介

## ゲイン・レーシング・チーム

会長 田端直樹

昨シーズンは、久しぶりの大雪で思う存分スキーに明け暮れた方が多いことと思います。しかしながら、3月~4月は気温が高い日が多く、夏スキーのメッカ乗鞍では例年に比べ雪が少ないとのこと。新聞紙上では連日環境問題が取り上げられておりますが、10年前の上越の雪の量を思い出すと、地球の温暖化は早い速度で進行しているのではないかと心配になります。一方、ここ数年のスキー人口の増加は著しく、スキー場の混雑はひどいものです。特に競技スキーヤーのみなさんは年々ポールバンの確保が難しくなり、苦労されていることと思います。我々ゲインも社会人が中心のため、土日でもポール練習のできるスキー場をもとめて走り廻っております。

さて、簡単にチーム紹介をさせていただきます。「スタートのブザー音が鳴った瞬間の緊張感が忘れられない。」ゲインはそんな仲間の集まりです。部員数30名と小さなチームですが、昨シーズンは年末年始と2月に合宿を行い、都連をはじめとするいくつかの大会に参加しました。合宿の雰囲気は最高なんです。大会の成績はというと、主要メンバーの高齢化のためか、多少伸び悩んでおります。老人たちの尻に火をつけるためにも、元気な若者たちの入部をお待ち致しております。



## 360°のメニューです。車山高原

この夏は、まるごとニュージーランドの車山高原。  
サザンクワッキング・ニュージーランド・フェス '91

## 8.03sat-8.25sun

- 8.03 sat コニカフォトフェスティバル
- 8.04 sun 車山高原おもしろウォーキングレース
- 8.11 sun ウルトライズ
- 8.10 sat-18 sun NZデザイナー&スタイラガーウィーク (8.14 thu 花火大会)

- 8.22 thu-8.25 sun NIPPON MASTER'Sハンククライディング大会
- 8.24 sat 服部克久 音楽畑コンサート&エア・ニュージーランドナイト (特別列車 新宿→茅野 THE KIWI FLYER'91運行)
- 8.25 sun クローキングNZバザール



● お問い合わせは  
信州総合開発観光株式会社  
長野県茅野市ビーナスライン車山高原  
☎0266(68)2626 〒391-03

## 編集後記

「ここ志賀高原へ入るには、湯田中から歩いて登って来たものだ。」「菅平への道は遠く、上田駅から馬ソリに乗って…」等々先輩の先生方から昔話をよく聞いたものである。

かく言う私も、昔?スキーを始めた頃、確かラングリーメンとかいう、皮のベルトでがんじがらめにしたスキー靴を、やたら長いスキー板に縛りつけて、赤倉から田んぼの中を田口駅(今の妙高高原駅)迄、下山したことがある。キスリングというパカデッカイザックを背負っての滑降では、バランスをくずし何度転んだことか。

今や、もよりの駅から車で1時間もしないでスキー場につけるところが多い。早朝上野駅を出発して、10時頃にはゲレンデに立つ、十二分に終日滑りまくり、駅前でイッパイやって列車に乗り込み、夜はもう自宅でTVなど見る。そんなことの出来る昨今、2日がかりでスキー場へ向った時代が嘘のように思える。

交通機関の発達とはスキー場と直結、まるで我家の裏庭のような感じである。その便利さと勿論スキー自身の楽しさが、スキーを大衆化させたのであろう。

かつて山岳スキーから始まったスキーは、当初限られた人々にのみのスポーツであったに違いない。それが今や多くの人々に愛されるスポーツになったのは、先人達の先見の眼と「安全で楽しいスキー」をモットーにした努力の賜といえよう。

近々、都近辺二つの人工スキー場が出来るといふ。首都圏にスキー場施設を有する国は少ないのでは。勤め帰りにひと滑り、休日には一汗かきに、とゴルフの練習場みたいになるのでは。スキーのライフスタイルも様変わりし、それにつれて、益々スキー人口はふえるだろう。しかしこれはあくまでも練習場であって、やはり、自然の中で雪と、木々と風と対話する気持を大切にしたい。

それと共に、日本の中の東京である、東京都スキー連盟の使命もまた大なるものと自覚して前進してゆきたいものである。

SAT編集委員会委員長 久保田友江

委員 市川友之、三浦友三、吉田 茂

総務部専門委員 中村暢男、三瓶一男、塚本哲夫、本間毅一

村上万里子、宮沢千恵子、高橋正視、坂野修子

発行 (財)東京都スキー連盟  
〒102 千代田区麹町4-5 第6麹町ビル551号  
TEL (3262)2491(代)  
発行日 平成3年8月3日  
印刷 エース工芸株式会社 TEL 0492(51)1305  
〒354 埼玉県富士見市鶴馬2589